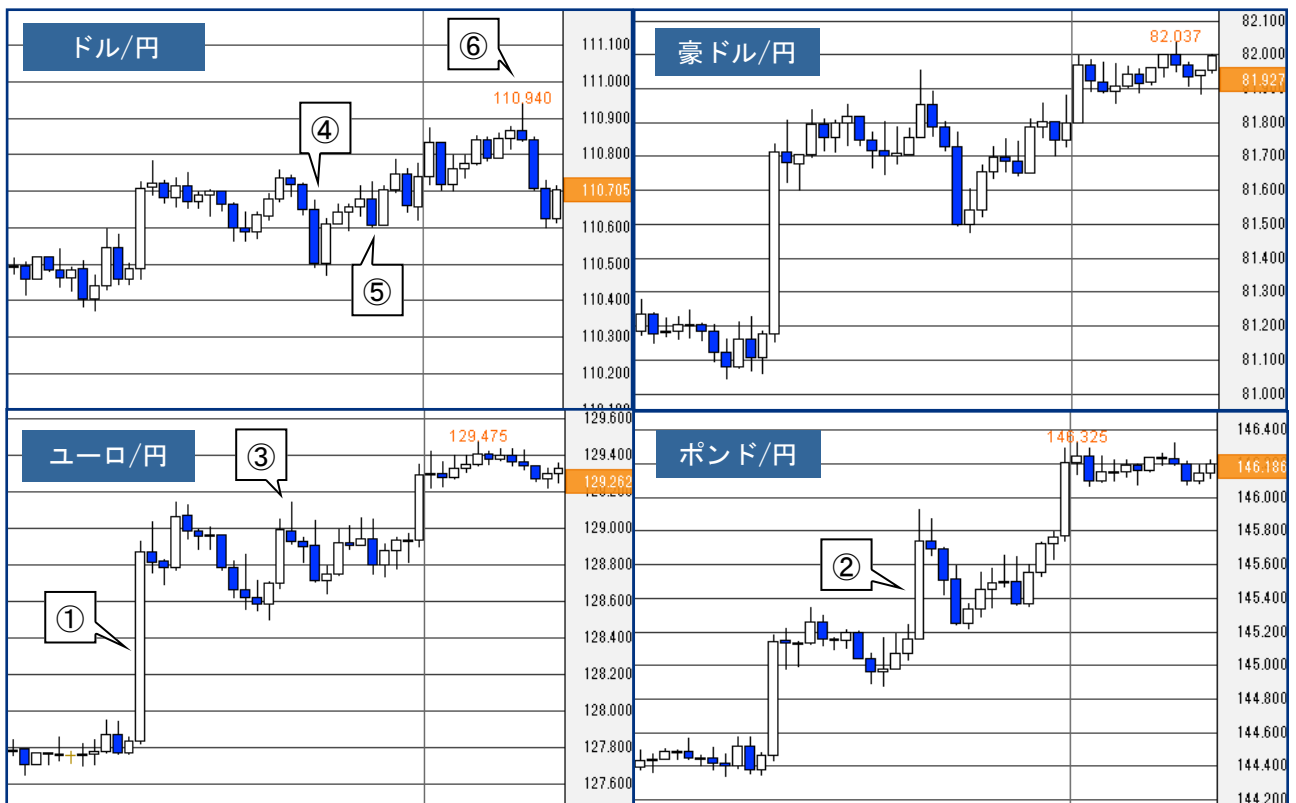


7月2日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円、カギはフローから材料へ

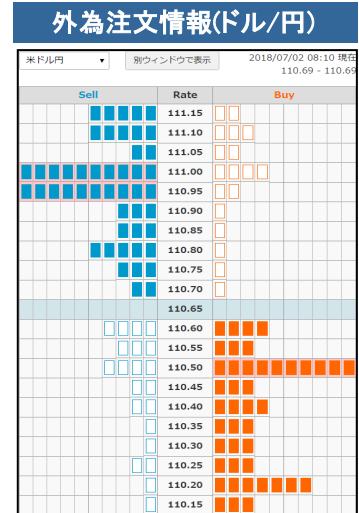
29日(金)の為替相場



期間：29日(金)午前6時10分～30日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 欧州連合(EU)の首脳が、移民・難民問題で合意したと伝わるとユーロが急騰。なお、EU首脳会議は、難民・移民申請を取り扱う共同の審査機関を域内に設置する事や、域内での難民・移民の移動を制限する事などで合意。移民・難民問題をめぐりドイツの連立政権内で対立が激化していただけに、この合意によってメルケル政権崩壊の可能性が低下したと受け止められた。
- ② 英1-3月期国内総生産(GDP)・確報値は前期比+0.2%と、改定値(+0.1%)から上方修正された(前年比は+1.2%で変わらず)。これを受けてポンド買いが強まった。
- ③ ユーロ圏6月消費者物価指数(HICP)・速報値は予想通りに前年比+2.0%へ加速した(前回+1.9%)。
- ④ 米政治系メディアが「トランプ大統領が米国の世界貿易機関(WTO)からの脱退を希望している」と報じた事を受けて一時円が買われる場面があった。ただ、その後ムニューシン米財務長官は「WTOに関する報道は間違いだ」と述べてこの報道を否定した。
- ⑤ 米5月個人消費支出(PCE)は前月比+0.2%にとどまり、予想(+0.4%)を下回るとともに前回(+0.5%)から伸びが鈍化した。一方、米5月コアPCEデフレーターは前年比+2.0%と、市場予想(+1.9%)を上回り、米連邦準備制度理事会(FRB)のインフレ目標に到達した。
- ⑥ NYダウ平均が300ドル近く上昇し、米長期金利も上昇する中、ドル/円は110.94円前後まで上伸して月初来高値を更新。ただ、NYダウ平均が引けにかけて上げ幅を縮めたため110.60円台に押し戻された。

29日(金)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22304.51 △34.12	6194.633 ▼20.755	2847.418 △60.522	7636.93 △21.30	12306 △128.77
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24271.41 △55.36	0.0360% ±0.0000	2.631% △0.015	1.278% △0.015	0.302% ▼0.018
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5282% △0.0182	2.8601% △0.0237	74.15 △0.70	1254.50 △3.50	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.200-111.200	128.400-129.900	81.500-82.500	145.500-146.900

【ドル/円】

29日のドル/円は、一時110.94円前後まで上昇して月初来高値を更新。ただ、ユーロ急騰の裏でドルが全般的に弱含んだ影響などもあって111円台には乗せられなかった。本日から下半期入りとなり、前週に観測された米企業によるリパトリのドル買いフローなどは期待しにくい。そうすると、111円突破のカギを握るのは米6月ISM製造業景況指数などの材料面という事になるだろう。ただ、トランプ米政権が仕掛ける貿易戦争が企業マインドの悪化に繋がっていないか一抹の不安は残る。そのほか、アジアタイムは日銀短観や中国6月財新/製造業PMIなどが発表される。これらを受けた日経平均株価や中国上海株の動きにも注目が集まりそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/2(月)	10:45	○	(中国) 6月財新/製造業PMI	51.1	51.1
	16:55		(独) 6月製造業PMI・改定値	55.9	55.9
	17:00		(ユーロ圏) 6月製造業PMI・改定値	55.0	55.0
	17:30	○	(英) 6月製造業PMI	54.4	54.0
	18:00	○	(ユーロ圏) 5月失業率	8.5%	8.5%
	18:00		(ユーロ圏) 5月生産者物価指数(前年比)	+2.0%	+2.7%
	23:00	◎	(米) 6月ISM製造業景況指数	58.7	58.5
	23:00		(米) 5月建設支出(前月比)	+1.8%	+0.5%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。
Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com